

オリーブの樹

第115号

2013年1月13日

شجرة الزيتون

早期釈放！ 重刑策動をはね返し、重信さんを支えていこう！



目次

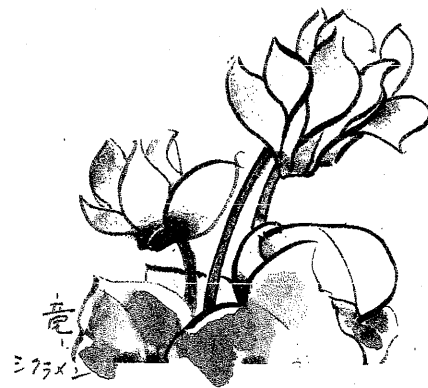
- P 2 11月12月の歌 重信房子
- P 3 独居より 重信房子
- P15 さわさわの頁
- P17 アラブ物語 (22) ステーションとしての党へ (4) 重信房子

重信房子さんを支える会

十一月十二月の歌

重信 房子

獄の秋大道芸人躍動し囚徒は笑い喝采途切れず
 冬の海たゆとう波に星月夜祖国の革命夢想している
 ピラカンサ黄緑鮮やかひこばえが冬の朝日にキラキラ光る
 パレスチナライラガザの地踏みしめて同志らと歌う解放の歌
 投票日寺山の歌口ずさむ「身捨つる程の祖国はありや」
 甲いし君を想えばかすかなる君の訛りがなつかし哀し
 面会室四歳の子が問い給う「なぜここにいるの？」手さしのべながら



晩書より 11月12日~2013年1月9日

勝利の方程式をこつこつ準備して 次に備える戦略が実行できるかが教訓(12月17日)

重信 房子

11月12日 「はなかみ通信」37号受け取りました。お便りもありがとうございます。Mさん俳句便り休日分含めて5通受け取りました。

午後に保健課長の面接がありました。指名医の関連書類は整ったので、これから審査するとのこと。また私が前に質問していた「日本は国民皆保険制度なのに、なぜ指名医には保険が適用されず高額な負担」を獄中者に強いるのか？ 獄中者に対して差別のようで納得いかないと思ったためです。刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律63条で指名医を自費で診察できると書いてあるのですが、「自費」とは、「保険適用の自費」ではなく「全額負担」とのことで、保健課長も調べてくれたものです。保健課長は国民健康保険法(?)の59条を示してくれて、「この法では刑事施設収容者に対しては保険が除外されている。これは国が被収容者の医療健康に責任を負っているということ。私の解釈では、その後に新法で『指名医制度』ができた。これが59条との関連について説明して、法にすぎまができたのではないかと思う。今の法のままでは、59条で獄中者に保険は適用されず、新法で『指名医自弁』ということになり、全額負担となっている」と説明されました。

この法の顛軛については、次々と続いて指名医を必要とする人のためにも、議員立法やその他の方法で国民皆保険の精神に沿った法改正を訴えていきたいと思えます。

11月14日 午後、主治医の診察です。「ポリプ摘出の内視鏡による手術は11月26日と決まった」と伝えられました。「ポリプは8ミリくらい。(できはじめてから)5年くらいたっているかもしれない。ポリプの位置が内視鏡の入る一番奥にあたる盲腸の近く。時間は15分から30分くらい摘出自体は行われるだろう」とのこと。「摘出後出血止めして終了。食事はやわらかいものから普通食になる。入浴も手術翌日は不可」とのこと。血圧が157と高かったので、「冬になると高くなっているので注意して、毎日何度か測るようにし、下がらない場合は薬で血圧を下げましょう。血圧が高いと手術などで血が止まりにくくなるの

で」と言われました。頭痛がこの1週間断続的にあるので薬をお願いしたが、これも血圧が高いせいではないかと言われました。これまで低血圧だったので気にもしていなかったのですが、高くなったようです。「気をつけないと」と言われてしまいました。ここに居るとすぐ対処が可能なので助かっています。

11月16日 15日夕刊と16日朝刊に、イスラエルのガザ空爆が激しく続き、ハマスの軍事部門の責任者も乗った車ごと爆殺されたという。ネタニヤフ首相は極右のリーバーマン外相の「イスラエル我が家」と合併して1月の選挙準備を固めていました。それにイラン攻撃の予行演習のようにスーダンへと侵略して、10月23日から24日にかけて、兵器工場を爆撃していました。「イランが支援して稼働していた工場で、スーダンからパレスチナ・ガザへ武器が密輸されている」という口実のようです。選挙の前には大侵略・暗殺を平然と行うイスラエル政権。ガザへの侵略や空爆やレバノン南部への攻撃、どれかが始まるだろうと消息通は予測していたことでした。「アラブの春」で民衆が望んだことの一つはこうしたイスラエルへの公正な裁きです。イスラエル侵略が続けば続くほど、出来たばかりのムスリム同胞団系のエジプト政権も問われるでしょう。兄弟組織のハマスを支援し軍事的以外の何らかの措置が求められてきます。「平和条約破棄」「イスラエルとの外交断絶」を人々は求めるでしょう。イスラエルの暴圧で中東はいつも正常な発展を損なわれています。

日本では今日衆議院を解散し、12月4日公示、16日投開票の総選挙。「自公民」が来年の連合政権担当となるような歩み寄り。「第三極」を訴える橋下、石原らは負けず劣らずの右。かつて自民党にあった「汚れたハト派」も「ハト派」(宇都宮徳間のような)も居ない。「脱原発」は「第三極」つぶしの解散をねらったようです。自公民政権も自維新政権も国民の声封じのおそろしい時代が来そうです。脱原発でどこまで国民の声を反映できるでしょう。きっと次の次に向けて、戦略は育つと思うのですが……。

11月18日 パレスチナ・ガザはきびしい状況に置かれています。イスラエルは陸上侵略戦のかまえて、予備役3万を招請しすでに1.5万は臨戦体勢とのこと。アラブ側は外相らがカイロに集まって停戦働きかけやイスラエル非難、パレスチナ連帯を表明していますが、何と云ってもアジアへ旅行中のオバマがイスラエル支持。あれこれの理由でイスラエルの虐殺を許している限り中東は戦争が拡大しつづけます。イスラエルとアメリカの「ネオコン」たちは、イランとの戦争、シリアの「反イスラエル・アサド政権の打倒」、レバノンの「ヒズブラーの武装解除」もこの機会にねらっています。エジプトが本気でイスラエルと戦争するとは考えない（それほどエジプトは米国に経済的軍事技術的に牛耳られている）。イスラエルはハマスの軍事行動を口実に戦争を拡大し、イラン空爆を目論み、チャンスをイスラエル選挙の勝利と合わせてうかがっています。常に犠牲を強いられるのはパレスチナの住民たち。世界はアメリカの「イスラエル支持」に何ら手を打てず毎度の無視かハマスの武力批判。イスラエルはリッジ闘争の時代と変わりません。昔は、それでも解放闘争の正義を支持する社会主義諸国や非同盟諸国がバワフルだったので、イスラエルは孤立し、「シオニズムは人種差別主義」という国連決議も採択されたのに、今はアメリカの支持をえて歯止めなき振舞いです。辺境で熱い怒りを沸き立たせながら日本のふやけたような政治家発言の総選挙との落差にまた怒り。血圧も上がっています！

11月19日 週明け。今日から冬物キルティング下着、手袋、毛布4つ折にしたもの膝に掛けることOKです。今日は12〜3℃もう冬です。明日は「綱引き大会」と「大道芸」があるとのことで、入浴が今日（入浴は冬は週2回通常火金）。午後主治医の診察、インフルエンザの予防注射の希望申込みで署名捺印しました。来週は内視鏡によるポリープ手術です。竜子さん「ボケの実」ありがとう！ なつかしい。そう今頃ですね！ それにいいなあ、同居の孫たち。Nさんが居たらどんなか！ と想像します。選挙も大変ですね！ どうぞ健康で！

11月20日 昼食を少し早めに終えて、パジャマから作業着に着替えて準備、膝掛け用毛布を一枚持って運動場へ。運動会などは地面にビニールシートを敷いて座っていたのですが、今日は折りたたみ椅子。太陽がざらざらして暑く、「膝掛け毛布いらなかった

ね」と言いつつ綱引き。私たち患者は見学です。トーナメント方式で炊事A、炊事B、園芸、介護図書他、各働役の人たちの作業場別々。みな力が入ります。女区はトーナメントの外ですが、看護師・医療労働者の人たちと女区の働役の女性たちの対決で女区が勝利！「力仕事はまかせて！」と大はりきりと歓声の応援。トーナメントは洗濯作業室が優勝です。それから大道芸「ファニーボーイズ」の日本人と外国人男性の二人組。世界各地でも賞を受けていると紹介がありました。楽しいパフォーマンスにみな大笑い。ここに来て、こんな大笑いできた芸人は大道芸をはじめ！と、みんな大満足。2時間の野外の楽しい一時でした。3時過ぎに房に戻って着替え、ちょうど真つ青な秋空にレースのような上弦の月がグラウンドで美しかったので房から見えるか？ と探しましたが見えません。

しばらくしてもう夕食と想っていたら、「面会！」の声。姉とメイが4時頃から来てくれて会うことができました。メイもまた海外出張みたいで、あれこれバタバタ忙しかったようで、9月末の私の誕生日以来の面会です。『アラブの春』の正体の本の校正点など送っていましたが、「どう？」と聞くと「増刷が決まったの」とニコニコ。よかったね、久しぶりで話したいこと多いのに時間が足りない！ それに、出版準備してもらっている私の本のタイトルやカバー装丁、まかせっぱなしのものの結論の編集者からの伝言（「カバー表はパレスチナ国旗に3人のシルエットなどは不可で写真にする」etc.）バタバタ。写真なんてないので探してもらえない……。あつという間に30分。メイは明日も出発前に面会に来られるとのこと。楽しい一瞬が終わり、房に戻ってちょうど始まった夕食に加わりました。何か今日はバタバタ続きでした。

Kさんお便りありがとう。鶴見先生のゼミで再び秋の京都、いい時ですね。昔の同志社、今出川御所のあたりが浮かびます。「白露に仏いませば手を合せず」秋深し心くず折れ墓の前 静かな亡夫を偲ぶいい句ですね。ゼミ同窓会に俳句を持ち寄るなんて、ステキです。やっぱり鶴見先生故か。

11月21日 午後はコーラス。「まっかな秋」「花は咲く」それにクリスマス準備の歌一つ。声は出ないけど楽しい。前回先生に『花は咲く』独唱してください！と言ったのですが、時間が足りず叶いませんでした。覚えていらして「あなたのリクエスト、今日はまず歌いましょう」と歌ってくださった。みんな大拍手。「まっかな秋」を各自ほめられて楽しく歌い、1時

間はすぐに終了。夕食間近4時30分にメイと甥二人で面会。メイによると「土曜会」が出版前、23日に出版記念のパーティを開いてくれるとのこと。12月の土曜会忘年会に参加できないメイに私の旧友たちの心優しいはからい。ありがとう。ちょうど戦場が中東全体へと広がっていく中に行くので、元気で過ごしてほしいと願いつつ。実務的なことで対話は手一杯。元気でね、ありがとう！

今日は資料や雑誌ネット記事など「人民新聞」、「救援」他いろいろ受け取りました。若松監督に関するロフトでの集いなど、外の様子も少しわかります。足立さん大忙しですね。半世紀の戦友同士、若ちゃんがメジャーになる前の時代を共にしてきた人ですから、若ちゃんを語るのはやっぱり足立さんですね。

今日は鳩山元首相引退表明。かろうじて「善意で取り組もうとしていたまともな一人」といえる人が居る場所のない日本の政界です。勇ましいことを言い、危険な日本を夢想する人が劇場型政治を全面展開し、マスコミはそれに呼応して国民意識に刷り込んでいくような危険な選挙になりそう。でも国民は良識ある判断を今回ダメなら次へと進めるでしょう。

11月22日 今日は11月の発信枠の最後を使わざるをえず、1ヵ月5通の5通目を朝に投函提出。出版の装丁などをすべて任せることにしました。午後に眼科診察。頭痛と眼の奥が痛んでいたのが主治医が手配してくれたものです。薬を眼にさして瞳孔を開かせて眼底など検査。「とくに異常はないようだが視神経が弱い。さらに検査するかは追って知らせる」と眼科医の話で終了。明日から連休ですが「オリーブの樹」は受け取れませんでした。宮崎先生、ありがとうございます。先生も冬を健やかに過ごしてください。

ガザではエジプト政府仲介によるイスラエルとハマスの「停戦」が成立したとのこと。すでに14日から8日間で少なくとも161人が殺され、1200人以上が負傷しています。今回のエジプト仲介で米国がイスラエルの側に居て仲介役にはとっくになりえない姿をさらしました。抑圧され弱い立場にあるガザの人々・解放勢力に対し、先制攻撃をしかけ、小さな力量のロケット反撃に巨大な軍事力空襲で立ち向かうイスラエルの「自治権を支持」して、さらに軍事援助を約束する米国オバマ政権。今回のイスラエルの暗殺にはじまる戦争は、ハマスのガザ市民は勝利と受けとめるでしょう。そしてまたハマスを国際社会が米・イスラエルの差し金で「テロ組織」としていることも正当

性をとっくに失っています。パレスチナにも新しい局面が国連総会の来週の決議でも生れ、イスラエルは危機感を増し、次の戦闘・軍事行使をねらうでしょう。パレスチナ、レバノン、イランetc.

11月26日 起床は7時半ですが、7時に看護師が来て、腸洗浄用の液体「ムーベン」350mlくらいのコップを渡され「起床までにこの分量を飲んでください」と始まりました。外は今にも降りそうな寒い日。30分に1カップくらいのテンポでムーベンを飲みます。9時から入浴。その後も腸の洗浄を続け2リットルの量を飲んでからあと1カップ2350mlで「いいでしょう」と終了。昼休み後、手術着に着替えて担架で出発。手術室に13:30着。主治医が内視鏡手術担当で手術着に着替えて登場、外科医も立ち合っています。所長も居ます。

内視鏡が大腸から小腸のつながる部分まで入ってポリープを探しますが初めは見つかりません。私もモニター見つ「消えることあるんですか？」と訊くと外科医が「ありますよ」と答えているうちに「あ、みつかった」と。それから平べったい（丸くない）8ミリくらいのポリープを焼き切りクリップで出血を止める措置をしました。これで終了。「他にポリープがあったら摘出してください」と言うと、主治医が「この処置が終了したら戻る道々でチェックしながら行きます」とのこと。それからゆっくりチェックしているうちに、「あ、発見！ ありましたね、これは腸のひだの裏にかかっている、表面1センチですが深い可能性あり、今は摘出せず、どう処置するか今後検討必要です」。主治医は細胞検査のためそこを傷つけるとガンだったら散らすことになるのでそれも行わず、クリップで位置にマークをつけました。直腸のあたりです。そしてさらにチェック。直腸のポリープを6月25日に摘出して、病理検査でガンと判明したあたりに、「グミ」のような小さな赤色のポリープを発見。こちらは小さいので摘出。今日のターゲットのポリープと直腸のグミ状のは病理検査で調べるとのことです。2:45に終了。

担架で帰房。寒い寒い！ まだ点滴はCVポートの鎖骨下につけたまま。16:20頃主治医がみえて診察室で点滴の針を抜きました。「新しく発見された1センチのポリープはすでに4、5年たっていると思われる。大腸はひだがあって、発見しにくいところにあることもあり、今後も見つかる可能性がある。ひだかと思うとポリープという平べったいポリープは探しにくい（私のは）たちのよくない平べったいのができやす

い]とのこと。「内視鏡でなくまた開腹手術でないでだめですか? でもこれが最後と思ったけど、今日の手術で発見されてよかったです」と伝えました。Drはこれからどうするか、他の医者とも相談して決めるとのこと。今ガン細胞がなくても放置すると4-5年でガン化するとのこと。

やっと届いた「オリーブの樹」や若ちゃんの記事資料やKさんからの「通販生活」を讀みはじめました。

「オリーブの樹」さわさわページいいですね! MさんNさんありがとう! 他に書いてくださる方はペンネームでもいいですよ! 今後ともお願いします。表紙の一首に秋のボケの実、私には竜子さんがいつも彩色したものを送ってくださるのですが、とてもいい絵で、子供時代、近くの花畑にたくさん咲くボケの花に、秋においしいそうないい匂いの実がなくても「食べられない」と言われていたのを思い出します。他の秋の花々の絵もありがとうございます。これからゆっくり読みます。

また“小雪”のデジカメ歌人の写真もステキです。初マラソンしたのですね。“陽に抜かれ闇に紛れて辿り着き仮想のテープ切る初マラソン”。昔のヒョロリとした歌人の激走を描きつつ読んでます! Kさんもう「オリーブの樹」を読んでくれたのですね。昔の仲間と同窓会で会えて、「やはり昔の仲間がいいですね。忘れてきた何かがまたふつふつと湧き出しそうです」とのこと! 「ネコのヒゲ」の名の花は見たことないような花! Mさんが始めた地元での署名、すでに1000人を越えたそうですね。すごい継続の力! 初の「金曜デモ」を11月30日計画とか。成功を祈り連帯! 暖かいセーターを編んでくれる人がいるので差し入れたいが入るのかとのこと。着る物、食べ物その他、受刑処遇者には入りません。施設の売店で売っているもの(本人も買える最小限のハミガキ、タオル、下着など)以外不許可です。心をうれしくいただきます。

今日は手術を終えてホッとしつつムムム! 新しく発見されたポリープ、見つかったよかったです。ここに居る間に! と、また治療の準備を心がけます。

11月27日 初霜で運動場の芝はまっ白! 今日は吐き気もなく空腹で目覚めました。五分がゆです。朝昼夕とよく食べました。Yさんありがとう! 23日の土曜会のメイの「出版祝いと海外出張送りパーティ」。突然のスケジュール集まれる人は多くはなかったとのことですが、当初から日本に初帰国したメイを助けてくれた友人たち。当初の印象深いエピソードを語り合

い、お寿司で盛り上がり楽しんで写真と実況中継。こんなに早く送ってくれてありがとう! クラケンの話面白い! 横書きの名刺「旧姓蔵本」に、メイが「1日女が生れるってなあに?」と聞いたとか、JRAを「日本赤軍」と思って「日本競馬協会」だったとか。それに知らない人にメイが呼び止められ、突然1万円カンパされてとまどった話。「日本に来て100円ショップで一生懸命家のものを揃えて買物中、周りを行ったり来たりしている人がいて、まだ私も日本に来たばかりで目を光らせていたの。『間違っていたらすみません』と言われて、その表現の意味がわからなかった。『間違っていたらすみません。重信さんの娘さんですか?』と言われて、そうですと言ったら、『この前TVで見ました』とちょっと話して、最後に1万円くれた。お金もらってびっくり。突然知らない人からお金もらったことないし、アラブではいい心でやったことに対してお金をもらうことにすごく抵抗がある。その人は在日韓国人だった。うちの母の差別に対する立場など話して、それでカンパしてくれて、見たらお金だから返そうとしたけど受け取ってくれなかった。返すのは失礼かなと思ひ、最後はありがとうと言ってもらった」とメイ。「面会の時、お母さんに言ったら、そういうものは、ありがたくもらうものだと言われたんだね」とクラケン。「お母さんは学生時代、いっぱいもらってたから」とWクン。その他いっぱい楽しい話満載。多忙の中集ってくださった旧友たちありがとう。いつもメイのPTAでした。もう、あれから10年もとっくに経って……。Yさん、うれしい実況中継感謝!

11月28日 午後はTV。久しぶりに参加したら「相棒」というドラマ。ドラマも昔よりマンガチックなのですね。でもうらさいバラエティよりいい。

11月30日 午後に診察。診察室に行くと外科医と処遇首席も在席されていました。外科医は「11月26日に新たに発見されたポリープについては、今後外科医が担当することになりました。この26日のポリープ摘出にも立ち合っていたので見えています。この約1センチのポリープは形・色から見て、あわてて摘りにいく必要はないと思います。様子を見て摘出することになります」との話。「主治医はひだ裏に隠れていた状態で今回発見されたが、すでに4-5年経っていると思われ、今後遅くとも今ガン化していないとしても4-5年でガン化するだろうと言っておられました。様子を見てこの施設に居るうちに摘出してもらいたい

のですが」と話すと、「もちろんここに居る間にやります。まず、今26日のポリープ2個の病理検査の結果から判断します。そのうえでもう一度内視鏡検査でポリープの生体を採って病理検査をします。根が深いのか、注射でふくらませてポリープを浮かせて内視鏡で執れるのか、根が深い場合はまた開腹手術が必要です。急成長することはないので様子を見つつやります。これから眼科の検査(緑内障の徴候の疑いがあるとのこと伝えられた)、指名医(歯科)もあり、まだ時間があるので、すぐ外科手術ということはないが、早くお知らせした方が良く考えて伝えていきます」とおっしゃった。私も「またお世話になります。これまでで外科の先生のことはわかっているので安心です。よろしくお祈りします。またまだ働けず治療ですが、処遇首席もよろしくお祈りします」と伝えました。「冷ったらたくさん働いてもらいますよ」と処遇首席も笑いつつ診察は終了しました。来年またポリープ手術は続くことになりませんが、発見され移監前で本当によかったです。

その後資料「フォーリンアフェアーズ」その他受け取りました。ありがとう。M子さんお便り感謝。写真と共に外の脱原発運動の姿がよくわかってありがたいものです。ちょうど嘉田知事の「未来」が出てきて、みんなやっとな脱原発勢力の広い戦線の可能性喜んでいますか? それとも社民服部良一さんと競合になってしまうのでしょうか。また選挙のことも知らせてね。Mさん「脱原発」の署名がんばりつつ新しい若者たちとの出会いも本当に……3・11のプラスな面ですね。みんなの健闘に連帯!

12月1日 29日の国連総会で圧倒的多数(賛成138、反対9、棄権41)で、パレスチナに「オブザーバー国家」の地位が採択されました。1947年に国連でパレスチナ分割した時、すでにパレスチナ国家はあったのに、今もオブザーバーなんて! 国家資格でイスラエルの戦争犯罪を国際刑事裁判所に提訴できますね。政治的勝利の一步! イスラエルとアメリカは世界から孤立しました。アメリカは「パレスチナ国家」を妨害し、イスラエルはますます凶暴に土地を収奪し、パレスチナ的首都東エルサレムを併合してパレスチナ人を追放している現情よりさらに支配を拡大させようと目論むでしょう。入植地や住宅を拡大し、ガザばかりかレバノン、イランにも戦争を仕掛けようとするでしょう。138ヵ国がパレスチナを「オブザーバー国家」と認めたことは、イスラエルとアメリカのやりたい放題をどのくらい歯止めできるのでしょうか。イスラ

エルとアメリカは軍事によって「強さ」ではなく「弱さ」をさらすことになっていくでしょう。日本はアメリカに追いつかず賛成票を投じたのは賢明でした。

この冬一番の寒さ。スチームは入りませんでした。

12月2日 週末の今日は6℃から-1℃と真冬。窓から見ると運動場のトラックの水が凍って朝日にキラキラ光り、芝は雪が降ったようにまっ白です。

新聞によると、ネタニヤフ首相はパレスチナ国家昇格に対抗して「入植地住宅3000戸を建設する」との記事。東エルサレムを併合しパレスチナ自治区なのにヨルダン川西岸と東エルサレムを分断するように住宅建設をしているとのこと。イスラエルへの制裁なしに和平は訪れないことをまた証明しています。

12月3日 週末の休み中のお便りありがとうございます。寒さの中、八王子の病室がますます冷えることを気遣ってくださるお便りなどありがとうございます。Kさん、みごとな紅葉を下から見上げた写真、いい真紅! 「哀しみのソレアード」の歌詞の心境にぴったりとのこと。「この愛をありがとう」なんて言える人がいる幸せですね。宮崎先生は独文で森鷗外の「独逸日記」読んでおられとは! ドイツ語は自在ですもの。88歳に向かって向学心の冬。見習いたい私です。Mさんの地元の関電への申入れ書案、心強い! 健闘に連帯!

12月4日 今日には衆議院選の公示。新聞では大方の予想が自民党が第一党。自民、維新、自公民と原発を推進し、福祉切り捨て勢力の圧勝らしい。でも「日本未来」が社民、共産支持層の票を食い合うのでなく、新しい層にレンジを広げることができれば次につながります。参議院選の来夏につないで、已年らしく地を這うように地道に生活と結びついた住民の「脱原発」から自民党型の利権、官僚、米従属の長い政治を革めたいものです。週末読んでいた同志社学生運動史『アジビラは語る』の中で丸岡さんの文を見つけました!(213p)「浪共闘アピール」です。丸さんや中野さんが同志社学館にBoxを借りて、「浪共闘」を立ちあげた話を丸さんから前に聞いていました。その時の文と思われ。当時の生き生きとしたあの同志社学館を思い出しつつ。

Mさん11・30の初デモ、地元で20人も関電営業所までデモを15分敢行したとのこと! 「代々木の17万人デモも嬉しかったけど、あの大集会と同じくらい嬉しい初金曜デモです」とのこと。心意気が地元

に根を張りだしたのですね！ 連帯！

12月5日 午後は姉と義姉の面会。11月30日付で書籍と一緒に入れた手紙で今日面会を知らせてくれたのが届いていなかったのが、面会でわかりました。手紙は未着で、手紙の中身を話しているうちにもう30分です。義姉の送ってくれた歌集や彼女の短歌結社への誘いなど。辞退しましたが話さきませんでした。

房に戻り、朝参加を申し出ていた和室でTV観賞。スマップの番組、うーんでした。

それが終わるとすぐに主治医診察。インフルエンザの予防注射をしました。そして11月26日のポリブの病理検査の結果、「腺腫グループ3」で、ガンではなかったとのこと。5がガンでまだガン化していなかったのよかったです。先週外科医が新しいポリブの方は外科で担当することになった件は、主治医一人だけでなく外科医など複数で検討したいためと主治医は説明してくれました。また「頭痛があるので一度頭のCTをとりましょう」と。

夕方姉の手紙着。11月30日付なら昨日着いたらよかったのに！ 書類・書籍などに手紙を同封すると遅れます。またクラケン毎年ありがとう。賀状の絵を送ってくれました。今年は福島飯館村の「心和ませ地蔵」です。二体の笑顔のお地蔵様がよりそっていいですね！ 新しいポリブ心配くださって感謝。血圧も「自己対処するように！」血行障害を起こさないようにとアドバイスと資料ありがとう。「飯館村で出会ったこのお地蔵様も、かなり放射線量が降り注いだようで、まったく罰当たりですよ」とあります。本当に！ 今日バタバタして、ちょうど衆議院選挙公示の昨日の夕刊と今朝の朝刊読む時間なく夜になりました。選挙中のあれこれのドラマやスキャンダルも嫌いではない方ですが、福島での第一声が安倍も野田もとは？！ 多くの人が「脱原発」を求めながら、その意志が投票と結びつくでしょうか。

12月6日 頭部CT撮影。造影剤入りとそうでないのと各1回撮影。

12月7日 大雪(旧暦)ですが陽がまぶしい。昨日房をすぐそばに移りました。が、また南向きで陽が注ぐと陽の届くベッドの布団の足元が暖かい。でも起床時には芝も運動のトラックも霜でまっ白です。資料がたくさん届きました。ありがとう。「選択」「創」「アラ

ブ」、若ちゃんインタビューの載っている「事業構想」、初めて読む雑誌、「独房通信」「ネットのアラブ情勢」脱原発資料、上野のぶ代さんを偲ぶ会冊子、「文藝春秋」。「高血圧対策パンフ」これはいいですね。足裏たたくこと、爪もみで血圧を下げられるとのこと。爪もみの時、足裏も叩くことにしよう。それからお便りもありがとう。姉から干支の巳の絵もうれしい。Tさんありがとう。来年の若ちゃんのパースデーに偲ぶ会をやるのですね。仕事の前進もよかったです。ライラがガザ入りしたのね。PFLPガザ戦線60周年記念に連帯！ ライラもガザの人もうれしいね。Mさん心に響く詩(中村純詩集)を知らせてくださってありがとう。「普天間」(坂手洋二作・藤井ごう演出)青年劇場公演は見に行くのでしよう。

12月8日 新聞ではハマスのリーダーのミシャールが12月8日のハマス創設25周年に、7日初のガザ入りしたとのこと。ライラに続いて、エジプトの政権交代は、パレスチナには今プラスに作用しているようです。一方でエジプト国内ではムルシ大統領の超法規(限定期間)の権力集中の大統領令に反対して反対派と衝突で死傷者も出ています。これから左派とイスラム勢力が協調して親欧米勢力や旧ムバラク勢力を乗り越えつつ民主化を実体化していけるか、それともイスラム勢力が反動化していくか、岐路のようです。

12月10日 今日新聞休刊日。塀の外では選挙スピーカーが何度も聞こえます。M子さんありがとう。総選挙も自民が支持率20%くらいで圧勝なんて！と憤慨。私も同感。「何とか希望のある結果を願っています」とのこと。本当に。

12月11日 今日の新聞では「教習廃止の公算大・原発直下に活断層・原子力規制委再稼働認めず」の一面の記事。地震国の日本を原発依存にしたのは米国依存の政策をとってきた自民党です。たまたま政権から追われていた時期の2011年3・11。総選挙では、その自民党が復権するともつばらのマスコミ報道。「ものの見方が非常に狭く、しかも横並びのメディアの在り方」に政治的関心の偏りや国民意識にメディアの責任の一端がある」とロナルド・ドーア、ロンドン大名誉教授談。国民が選択したくても洪水のような「安倍自民党云々」の政局ばかり。「脱原発」が選挙とつながる回路はまだ一部の人しか持ちえていないのに、もうすぐ投票。野田のねらいは、「第三極」つぶしでしたね。

でも自分たちもつぶしてしまうでしょう。「未来」や脱原発系には時間があればもう少し違う条件が生れたでしょうに。

お便り和尚ありがとうございます！「いつも忘れた頃に現れるNでございます」の書き出しも彼らしい。忘れないぜ！和尚の僧の実践修行と脱原発の運動の様子、現地での祈りに感激した小学生からのお便りや似顔絵、現地のレポートいっぱい送ってくださってありがとうございます。「いろんな考え方、いろんな方法でいい。裾野を広げ、大きなうねりを創り、新しい世の中を！」と和尚。これは私たちの世代の失敗の教訓でもあります。Mさんまたいい詩ありがとうございます！姉よりクリスマスにみどりファミリー面会との連絡うれしいなあ。

12月12日 主治医の診察「12月6日の頭顔CTと血液検査の結果をお知らせします」と伝えてくれました。頭部CTは映像を見せてくれながら、「異常なし正常範囲です」とのこと。また「腫瘍マーカーもCEAは3.4と正常範囲。他にCA19-9、肝ガンチェックのマーカーAFP、PIVKAの2種すべて正常値の範囲でしたよ」と知らせてくれました。「本当にPET検査で移転リンパ節の小腸ガンを摘出したおかげですね！」と私も改めてお礼を言いました。そして鎖骨下のCVポートをフラッシュして診察を終えました。

12月13日 夕方「出版」のことで連絡が届きました。クリスマス前頃に『革命の季節——パレスチナの戦場から』が幻冬舎から出版。これまでに「オリブの樹」などに書いたリッジ闘争の時代の私たちの当時の状況を、リッジ闘争40周年と丸岡さん一周忌もあってまとめたものです。

12月14日 あさっては投票日。宣伝カーの往来が塀の外では増えています。新聞では自民党公明党で300議席うかがうとの調査結果が出ています。北朝鮮が衛星打ち上げ、中国機が初の領空侵犯と、記事の追いたてをくらって、投票行動は右へ右へと流れているみたい。「未来」は「社民」を食い合っている様子。右派の動きは勢いもあるので、政策はまっとうに国民に伝わっていない。総選挙結果にめげず惑わされず、新年から逆に国革むる闘いが活性化しそうです。その流れに促され次の選挙には、またその先の選挙では国民の意志を「脱原発」を核の一つに結んでいけば、「自民何するものぞ」と変わりうるでしょう。

夕方、土曜会忘年会の詳しい実況中継を受け取りま

した。Yさんありがとう！鍋に人根とイカの煮付けとぎんなんなど、みんな酔いつぶれるというより「明大土曜会」らしく学習会の雰囲気ですね。「煮詰まるTTP交渉参加問題、9条改憲阻止の会の新しい事務所」に土曜会も月々家賃協力の話、山形「おもいで館」での福島の人々との交流、「ウシトラ旅団」の活動と福島的情勢、新潟羽原原発交流会報告などなど。

Mさんより「普天間」の編劇報告ありがとうございます。現実を反映し切れていず少しがっかりした様子。「主人公が基地問題の解説者になってしまい、沖縄の煮えたぎる熱さがなく、せつかくの演劇なのにドラマ世界に誘ってくれる引力が乏しく基地問題の学習させられる気分」とのこと。「でもこのように沖縄をテーマとする演劇がもっと出てきてほしい」と。

12月16日 昨日と今日は子供時代の最大のイベントの世田谷ポロ市の日です。寒い中楽しかったけど、あの時のしもやけ、あかぎれを半世紀以上経てまた味わっているなんて……。しもやけ、あかぎれ11月末の分ですが治りつつあります。今日とはとくに暖かめでスチームもなし。総選挙投票日でしたが国民気分としては投票に行く気になれない期待感減退かもしれません。

12月17日 朝から雨、運動も中止、スチームも入らずで、総選挙結果の朝刊と合わせて寒々の気分。「自公320超安倍政権へ」「民主壊滅的敗北」「投票率59%程度、最低水準」と一面の見出し。政権交代で選んだ民主党のでたらめさに「ノー」の声は当然でしょう。しかもこの期に及んで民主も民主離党も手を落選させ合うような狭量さ。「未来」は民主党不信の後遺症のように選択肢たりえず、「自民」と「維新」の側に現情不満をすくいあげられた格好です。でも大勝の自民票も小選挙区では乱立の中一番にすぎません。そんな中、組織のない社民はますます先細り、共産党はそれでも組織力で大敗はませんでした。住民の中に組織をもっと広げること、脱原発、平和、暮らしの政策の一致によって、国民の側から大連合をなしとげて(小選挙区制度に反対するとしても)、選挙区での勝利の方程式をこつこつ準備して次に備える戦略が実行できるかが教訓ですね。

朝刊記事はまだ100%の開票が終わったわけではありませんが、59%くらいの投票率は、前回69.28%に較べ10%下回っています。

自民は総票数の4分の1強(有権者の15%くらい)。

オリーブの囀 第115号

民主は17-18%、公明は10%以上、維新は20%近く、未来は5%くらい、共産は6%、社民は九州(沖縄)以外では2-3%といったところでした。こうした投票の比率から見ると、小選挙区統一候補を一本化し、投票率を上げて、闘い方で変えていけるように思えるのですが……甘いかな。これから「1票格差の憲法違反」訴訟からはじまって様々な民主化を求める動きが、新しい何かをつくりあげていくことに希望と期待を持ちたいと思います。巳年は退かない前進の年!

12月18日 全国比例で見ると、自民27.6%、維新20.4%、民主16%、公明11.8%、みんな8.7%、未来5.7%、共産6.1%、社民2.4%などです。それでも投票率を約60%として、有権者の2割に満たない自民党が「圧勝」となっています。死票の方が自民小選挙区当選者より各地で多いので、区内調整をすれば違った結果になりうるでしょう。小選挙区制そのものが民意を反映しないし、早くやめ小選挙区比例か比例を多くした得票率を反映する制度こそ必要です。ともあれ、「圧勝」した安倍政権、これから維新の突き上げにこと寄せてかなり右へ向かうでしょう。改憲や団体の自衛権行使に賛成する当選者は8割を越えているそうです(朝日新聞)。何とか脱原発、平和勢力の住民の力をいかにして逆転を!と新年に祈ります。

保健課長からの呼び出し面会がありました。「指名医について回答します。当所も初めてのことで審査に時間がかかりましたが、審査の結果許可決定が出たのでお知らせします。これから当所の方から指名医に連絡し、治療のことなどは調整します」とのこと。ホッとしました。

12月19日 もう「年末年始のスケジュール回覧」も回ってきました。仕事納めは12月28日、仕事始め(面会、発信)は1月4日からです。今日はグラウンド運動。寒いので1周走ってあとは話しつつウォーキング。1週間一度の土を踏み運動日は楽しみです。そして今日はまたクリスマス会13時半から15時まで。いつものしろの一角に女区の椅子が準備される講堂。今日は早めの13時に集合して前列に座りました。大きくてきらびやかなクリスマスツリーが新しく置かれていてクリスマスらしい雰囲気。後方に男性も着席してはじまりました。第1部は神父による福音書2章1節のベツレヘムの村の馬小屋でキリストが生まれ、飼馬桶にくるまれた生誕の聖書の朗読と解説。そして聖歌隊の合唱の間に全員で飼馬桶の赤ちゃん(人形)

の置かれた机に灯(乾電池式)を捧げました。第2部はオリタス(カソリック)の「小さな聖歌隊」11人のみなさんの清らかな歌唱コンサート。3時アンコールで終わったあと各病棟を讃美歌を歌いながら回ってくださいました。東北の慰問から休みなくこちらに駆けつけてくださったとのこと。心の暖かくなるクリスマス会です。

今日は浴田さんバースディ、おめでとう!あと数年で社会に戻りますね。健康第一で今を乗りきってください。あ、岡本さんも7日バースディ。元気でいてください。ペイルートへの戦火を気にしています。

12月20日 午前中呼ばれて診察室へ。外科医より「緑内障の疑いのため、視野検査超音波検査など眼科非常勤の医師の病院に行きます」とのこと。検査に先立って既往症その他の質問表に記入しました。午後2時半前から準備し、検査のため外部病院で視野、超音波撮影、眼圧検査を行った上で眼科医より診察結果を写真を見ながら説明してもらいました。神経の弱っているところは白くなっていましたが、今のところ緑内障のおそれはないと結論を下して、普通に生活してよいが、定期的に眼底検査でフォローしていくとおっしゃった。5時半過ぎまでかかりました。

また「今日は面会人が来て申請があったが却下された」と告知されました。名前は明かされませんでした。

12月21日 冬至。この日は次の日から日がほんの少しずつ長くなるので、何となくはばたく起点のような日で好きです。選挙結果にくやしがる友人たちの便りが届きます。都知事選のボランティアをやったり、秋葉原では500人ほどのネット右翼が日の丸を林立させて安倍の演説を応援し、「朝鮮人は出て行け」とか「君が代」の大合唱とか。「14日には山本太郎の応援に沢田研二が荻窪駅前に。初めてジュリーを見ました。よかったあ」との便りもあります。みな友人たちは持ち場で尽くした様子がわかります。カンパも受け取りました。ありがとうございます。Tさんも田中君の法事で上京していたのですね。みんなと「祭」で会えたとのこと。田中君含む時代を、とくに冬はバリエードの寒さを思い出します。

12月24日 連休のクリスマスイブ。夕方にラジオからイマジンが流れて、理想に燃えて倒れたあるいは殉教者となった友人たちが不意に次々と思い出され、イマジンの歌詞をつぶやきつつ、胸にこみあげるもの

がありました。でも晴天で良い日。夕食にはローストレッグが出てクリスマス気分。昨日の「祝日」には昼にチョコレートでした。3連休資料や荷物の大掃除整理となりました。パレスチナ・ベツレヘムでは、パレスチナ人のキリスト教徒や訪れる人々友人たちも、「国家」としてユネスコ世界遺産のベツレヘムで、クリスマスの聖夜を楽しんでいるのでしょうか。

12月25日 メリークリスマス!お便りカンパいただきました。ありがとうございます。連休中に届いたお便りもありがとうございます。宮崎先生、Kさん、Yさん、Mさん他みなさん、気遣ってくださって感謝です。外は朝は零下の霜で雪が降ったようなところ。でもカイロを足裏に入れて下着いっぱい着て厚着し、パジャマの上はカーディガンしか着られない。寒さに対応中。ジャケットや半日が許可されたいのに全国一律。受刑者は寒さに防寒不十分です。寒いのは1、2月のこれからです。

風呂から出たところで「面会です」の知らせ。午後かと思っていたら、昼食直前です。あわてて着替え、髪濡れたまま面会室へ。姉とみどり子どもたち。「みどりさんは親族ではないが、処遇首席の方で許可するようとのことで子ども2人も面会許可」と刑務官から告げられました。面会室に入るとまず子どもたちから入室してきて、去年からの成長に驚きます。みどりも元気そう。ニコニコ。姉も孫みたいに子どもたちの横でうれしそう。アクリル越しに握手にプチプチとキス。「なんでそこにいるの?」。手が握れないので4歳の「孫」は不思議そうに聞きます。ムムムと思わずつまってしまい、みどりが「病気の」と答えても「でもへんだな」という子どもの目。いいなあ。

面会室にあるマイクを握って2人の「孫」娘はマイクを奪い合いながら「ドングリころころ」「かえるのうた」「とんぼのうた」「ぞうさん」と、次々に歌ってくれました。最高のクリスマスプレゼントです。大人たちは話す隙間がない。

でも姉が「できたばかりの『革命の季節』を見せたい」と孫のマイク争奪の合間をぬってかざして見せてくれました。「うーん。似てもつかない今の私の孫のような若い頃の写真。「タレント本のようにしない」と言っていたのになあ……。『ギョットするでしょ。だから、目をつぶってから見せてくれと言ったのよ。だって若い頃の写真しかないしね』と、姉も笑いつつ「でもいい本になっていると思う。見城さんの文もいいし」と。「売れるようにするのは、こういう写真の方

がいいよ」とみどりも私をさえぎって笑いながら。まだ私の方には届いていませんが、とにかくいろんな方々が出版のために力を貸してくださってできました。あつという間の30分。あと1曲とねばりつつ、孫の美声を心に納めてクリスマスパーティーはお開きとなりました。

房に戻って遅れて昼食。すぐコーラスです。今日はクリスマスソングを思いっきり歌いました。「清しこの夜」「ジングルベル」「グローリー」と歌った。それに年越しの第九「よるこびの歌」。先生のリズムカルな指導でみんな思いっきり「歌った!」という気分。「今年ありがとうございます。あなたたちから元気もらいましたよ」と逆に患者の気持を引き立ててくださる先生80歳。「よいお年を!」と1時間をオーバーして終了。

夕食はクリスマス「なめらかクリームロールケーキ」(ヤマザキ)4個入りが添えられています。夜9時減灯までの間食べていてOKとのこと。

12月26日 今日の晴天は運動場へ。寒く霜でトラックはぬかるんでいて、芝の上をウォーキング。どの人も話題は昨日のケーキのこと。量が多くおいしかったと好評です。年末のカップ入りソバと正月のお節料理とか、話題は各地の刑務所の食べ物のことへ。みんなの話では栃木が最下位ランク。北海道、東拘などがいいようです。午後TV観賞。途中で主治医診察。眼科診察の報告を示してくださった。また今年最後の診察なので体調を確認し、CVポートをフラッシュして、「良いお年を」とお礼で終了。来年の旧暦カレンダーが届きました。短歌用に許可してもらっているもの。もう新年間近と改めて思います。届いたMさんのお便りにも獄中39年の星野文昭さんの絵とあきこさんの詩の2013年カレンダーをちょうど買ったり、友人に送ったりと、「あたたかく清らかな色合い」をMさんは大切にしています。「未決」の時は私も房内所持許可でしたが今は不可です。

12月27日 今朝は氷点下5度4分の八王子です。今日は願箋(申請用紙)をもらう今年最終日。明日の投函に1枚もらいました。ペランダの運動から戻り、『革命の季節』と『文藝春秋』、『オール讀物』他。アハリー・アラブ病院を支援する会の「アイヤーム・アハリー」No31などのパンフなど受け取りました。『革命の季節』のカバーははずかしくて置くとして、見城さんの一文は心のこもったありがたいものです。本を引き立てています。パレスチナでは当たり前の闘

オリブの嶺 第115号

いの支持が、日本で真逆の評価と扱いを受けて来、今も受けていることが、これらの文章を私に書かしたという気がします。自分も含めて闘いの時代を覚えておくこと、そして山を動かす方程式を見つけ出すこと。これからも問いつづけます。日本とちがう価値観が世界にたくさんあることを一人でも若い人が知ってくれば、この本は出す価値があったと思います。ミサイル攻撃の下、ガザ民衆の叫びを伝える「アイヤーム・アハリ」を読みながらますますそう思っているところです。

そんな時にちょうど今、大谷弁護士が面会に来てくださいました。指名医のことなど話すこともでき、ホッとしています。感謝。

今年もみんなの協力や励ましの中で2回の開腹手術、1回の内視鏡手術で腫瘍マーカー正常値の初の年越です。思えば2008年の仕事納めでのガン告知から満4年。みんな感謝ばかりです。ありがとうございます。どうか良い年をお迎えください。12月27日

12月31日 昨日の雨があがって今日は陽が差しています。昨日に続いて朝1時間ほどのスチームは無し。28日朝に今年最後の発信をしたあとはベランダでの運動。入浴をすませて仕事納めです。年末年始の入浴や年越しソバ、元旦の特別メニューなどのスケジュール回覧が回ります。いつも5時の夕方の点呼は今日は4時。その後夕食に変更。友人からのお便りも点呼後受け取りました。29日30日は『革命の季節』をゆっくり読みながら小さな校正点を見つけました。ここではガラに「赤入れ」して反却することはできないし、月5回発信日火木の日誌や実務連絡の間をぬってのガラ校正のやりとりは、やはり時間もかかり抜けてしまったり出版社任せになったりです。資料整理し大掃除し、もう31日午後です。

今年はいまの民主党のひどさ野田内閣に、住民たちとの「脱原発」の力は育ちながら、中国韓国北朝鮮を含む「尖閣」「竹島」「人工衛星」と排外主義の風が吹き、国民生活の先行き不安は、「野田内閣否定」から自民党返り咲きの政局をつくり、新しい年を迎えようとしています。中東ではパレスチナ、アラブもこれからさらに動乱へ。アジアでも中国の体制転覆までを目標するアジアのアメリカ戦略が実際には進みつつあり、安倍内閣も乗じて布陣を敷き、「国防軍」「改憲」を目指してここ数年は進んでいくでしょうが。今年是世界各地で選挙始めて新年からの道すじを決定した年といえそうです。また今年にはリッダ闘争40年でPFLP

らパレスチナと日本の友人たちの心をつないだ年でもありました。そして私自身としては、2008年以来大腸ガン3カ所、小腸ガン3カ所、子宮ガン、卵巣摘出を経て、今年には腫瘍マーカーが正常化した年となりました。新年は歯科治療、大腸ポリプ内視鏡摘出または再度の開腹摘出を終えると移監です。

抗ガン剤をやめ、小腸の「低分化ガン」再発の危機を抱えての移監となると、その成長が気がかりのまま（抗ガン剤使用中は再発を抑えるか遅らせてこれたので）でも、もう次の懲役の労働条件を準備する新年です。新しい流動を辺境で見つめながら前向きな交流を何かのかたちに考え、把んでいきたいと思えます。家族友人弁護士たちの絆がある限り、力がいつも湧いてきます。みんなに感謝を大声で叫びたい年の瀬31日午後です。

4時頃、年越しソバ（大黒軒天ぷらそば）が配られ、熱々のそばをいただき、その後、正月用の菓子（「小さいドーナツ」100g1袋、「ポテトチップ」30g1袋、「ブルボンクッキー」箱の3種類）が配られました。そして夕食常菜のおかず3種。それから夜は「紅白」はじめから「ゆく年くる年」2013年1月元旦0:15まで放送です。でも9時以降はベッドの中が聴くところ。おやすみなさい。今年に感謝し来年の願いを描きながら。

2013年元旦 晴天。良き朝です。初日が等しく獄にもまぶしい光を注ぎ、うす氷の庭、水分のある枝は水の光を輝かせている朝です。昨夜は「紅白合戦」のあと「ゆく年くる年」の時には窓辺に立って友人たちの健康と平和を祈りました。月明かりが明るい夜でした。朝は起床7:30には陽光が注ぎ、初日の太陽に眩しく直面するのは朝食後の8:30過ぎです。起床掃除のあとに陽を仰ぎ、世界中あちこちに居る友人に歌で連帯。インターを2番まで歌っているうちに、この歌を歌った20代の頃からのあれこれが浮かんで、悔しいのか懐かしいのかわからない涙。「今ぞ高く掲げん我が勝利の旗」。まだまだですね。公正を求め平和を求め初心に立って、前を向いて進む！と誓いつつ新年。友人たち共に！と叫びつつ。

朝食時おせちが届きました。当八王子当病院からの「あけましておめでとうございます。正月の折詰、もちの食べ方の注意」のピラも。裏面には「おせち料理」について」と題して「おせち」の由来や田作り数の子きんとんなどの一つ一つの言葉の意味などが記されているものです。おせち料理は20センチ四方に入って

いるもの。（図参照）おせちは正月気分に合わせてくれますね。朝は松前漬、わさび漬、ほんの少しずつみそ汁、それにメロン、メロンは青すぎて甘味のないものでしたがめずらしい。昼はおもち2個、野菜炒めに薩摩芋とリンゴ缶の重ね煮、酢の物、それに切り餅を入れる雑煮スープ、みかん。夜はハンバーグ、コンスープ、梅肉野菜あえ、オレンジ。三が日は白米のご飯です（いつもは麦入り）。お餅雑煮以外は、果物が副えられ他は常食メニューです。

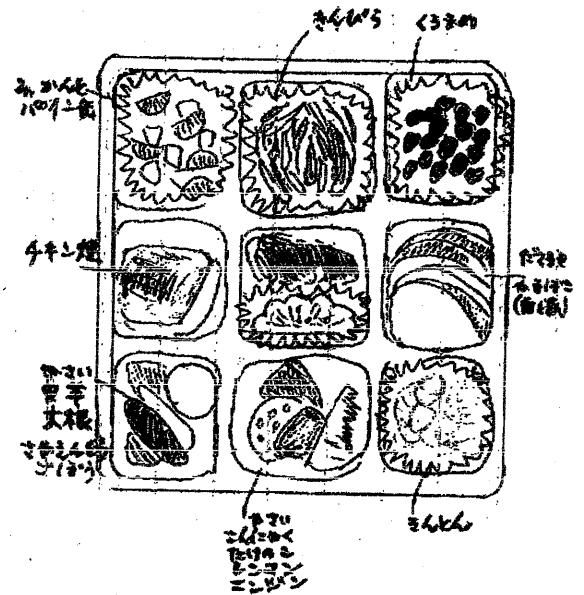
年賀状も午前中に配られました。みんなの年賀状が届くと「お正月」を実感します。どの絵柄も文も「一年の計は元旦にあり」という感じで嬉しい賀状で私を励ましてくれるものです。元気で今年には腫瘍マーカー数値も正常化して迎えている正月。友人たちの心遣いが賀状から再会を誓ってくれているのがとっても嬉しいです。ありがとうございます。

1月2日 晴天のおだやかな正月が続きます。今日は新聞も休刊。午前中に届いた年賀状を読みながら、賀状をいただいてこちらから出せていないことを詫言いつつ、友人たちの姿を浮かべつつ楽しみました。そして正月にはぜひ読もうと取っておいた「百人一首」という一冊を取り出して読んでいます。昔百人一首カルタで熱中した小学校、中学校時代、意味もわからないことばなどを改めて学習解釈し味わいつつ読んでいます。

今日の昼膳は切り餅2個と汁粉、厚焼き玉子、豚肉ショウガ焼き、カブの酢の物にミカンです。朝は田作りとゆかり粉にみそ汁と白米。夕飯は白米、肉ジャガ、ごま酢あえ、とろみ汁、ぶどう（缶詰）。平常よりちがうのはお餅と汁粉、それに果物です。

午後賀状受け取りました。その中に初封書便りTさんの大晦日発信のお便りも混じっていました。12月東京に出てきて、「祭」で旧友たちと会ったこと、田中君の7回忌法要に参加した様子情景が目には浮かびます。御茶ノ水の周辺の建物はずいぶん変わり昔のように喫茶店がなくなっている、駅やニコライ堂あたりを通ると40年前に通った同じ時が錯覚のように浮かぶようです。田中君の法要は16日1時からで、食事会も2時半まで。彼を偲ぶ30人ほどの参加者が集ったとのこと。田中君と同じクラスの親友だったTさんそれにJやS君らの学園闘争の大あばれを思い出しています。ありがとうございます！

1月3日 晴天続きの東京の正月。自分で決めた三が日のプランは楽しみ学び切れぬうちに明日からは



仕事始めです。賀状ありがとうございます。電子さんの前向きな新年に乾杯！Sちゃんありがとう。Kさんもますます元気。

1月4日 ずっと晴天続きの冬。それだけで気分は上向きです。今日は仕事始め。まず起床後掃除、点呼のあとに願い事で新年初の手紙を提出しました。そして朝食後ベランダへ。房内から出るのは去年28日以来。ラジオ体操を終え「各自自由に体操始め！」の号令のあと、みなおたがいに寄り合って、「あけましておめでとう！」と楽しげな声を交わします。さっそくおせち料理どうだった？お菓子は？と、みな前に自分の居た場所の食事の比較を話し合っています。千葉拘と東拘が正月おせちなどではベストランキングです。少し走って久しぶりに身体を開放。房に戻って新聞を受け取ると、一面の下に『革命の季節』の広告が出ていました。「革命」という活字が紙面に不似合いそうで目立ちますね。午後はまだ年賀状ありがとうございます。Oさんから12月末付の久しぶりのお便りも。「泥掻きボランテア1昨年は4回、宮城、岩手。昨年は南相馬」と行った先々で出会う住民たちに感動した様子のお便り。「人の役に立つことをしたい」と、もう半世紀前に言っていた学費闘争2・2協定前の社学同のホープだった彼を思い返しつつお便り読んでいます。「餅代」もありがとうございます。R介も「土曜会、今年も闘う決意です」と歯切れの良いお便り。

また「泉水国賠通信」他パンフ類も受け取りました。弁護士さん水田さんの努力、それに泉水さんの覚悟が

心にひびく文を読んで胸にこたえます。何もできずにエールを送っているのが心苦しい。今、泉水さんはひどい「罰」を受けて、それでも泉水さんの筋の通った意志が伝わってきます。「罰」は作業用の交際の必要で許可を求めて泉水さんが拳手をして、いつまでも気付いてくれないので「ハイハイ」と声をあげたこと。気付いた係官に説明しようとして「抗弁」と取られ、審査の結果、処遇を五類まで落し、「無事故章3本剥奪」「15日の閉居罰」とのひどい仕打ち。それに「昼夜独居」もずっと続いているとのこと。「国賠訴訟」に対する報復なのか？と疑います。「ハイハイ」は不可と注意すればすむようなこと。自分の非を係官が認めたくないため？ 岐阜刑は酷いとよく書かれています本本当にひどいです。ここ八王子は医療刑という特殊な条件のせいかもしれませんが、管理はきちんとしていて合理的で、「違反処罰」を受ける人もいますが、岐阜刑のような「いじめ」のようなことはありません。裁判所があてにならないのは昔とあまり変わりませんが、何とか苦境を乗り越えて国賠訴訟を勝ち抜き、岐阜刑のやり方を変えさせてほしいものです。

今日は初房内検査もありました。

1月5日 今日は旧暦の小寒でした。おや、ぐっと寒くなったな……と思って気付きました。ラジオでは八王子はマイナス5.6℃とのこと。八王子はいつも東京都が一番寒い気温を示します。最低温度よりも最高温度の方がいつも気になります。一日の寒さを予測できるからです。今日の最高予測は6℃。やっぱり寒い。朝起床時と午後4時頃に1時間ずつスチームが入るので寒さは緩和されます。八王子が寒いのはまだこれからです。

竜子さんのお便りとってもうれしかったです。Nさんの遺影を前に本を置いて報告くださってありがとうございます。今頃、私の短歌の凡作を選びつつ表紙の絵を描いてくださっていることでしょうか。孫たちにまわりつかれる嬉しい悲鳴が聞こえます。

1月7日 今日から本格的に平常日課です。少し暖かいと思ったら-2℃~8℃の八王子。ベランダ運動も気持ちいい。プランターは葉ぼたんだけ。「今日は七草だって。春の七草って何だっけ？」と聴かれる。そうかみんな七草忘れてるのかな。「せり、なすな……」と伝えてあげると「すごーい」と言われてしまう。年のせいだけでちっともすごくもないのですが。午後は整髪。去年申請していたものです。新年短く切りました。

賀状まだ受け取れてうれしい。Y先生も体調はすっかり戻られて今年はずでにたくさんの仕事の見通し。どうぞ健康で。Sちゃん、Hちゃんありがとう！住所もわかりました。Hさんこそ健康で！いつも「解放」送ってくださるIさん「斗春」ありがとう。元旦から賀状に励まされて、気持ちだけはやる気十分の2013年です。みんなありがとう。

1月9日 今日は今年初めて運動場でのウォーキング。ずっと続いていた晴天から今日は曇天。10時半建物を出て、外の空気に触れながら、地面にしっかり足をつけて坂道を登ると運動場。木々も冬木立、芝も枯れて幹や根で萌え出るエネルギーを静かに貯えているところ。昼食も完食。体調は良好です。

資料や新聞、「創」「情況」「紙の爆弾」などの2月号も届きました。新聞は新内閣のことしきり。安倍首相が経済政策の司令塔と位置づける「日本経済再生本部」が初会合し、ままた竹中平蔵氏らのグランドデザインの下に「産業の再興」「企業の国際展開」「市場の創出」と成長戦略を進めるようです。大企業延命の犠牲の下、国民生活はますますきびしくなりそうです。去年1ドル79円だったのが今や88円。インフレを促し賃金も年金も上がらなければ、生活苦の層は増大していくのに、「増税」や「生活保護の見直し」や1年もたたない先の日本は、きびしい者にさらにきびしそう。「税金生活者」は阿部首相から私までいろいろです。

まだまだ賀状いただいてうれしい日々です。小寒のデジカメ歌人、写真が??？と思ったら説明「深々とお辞儀する福助の頭!」。「枯れ川の枯れ葦の元置き忘れの白のスニーカーそこだけが夏」の一首も気に入りました。また宮崎先生も季語に囚われぬ句にいそしんでおられなかなか光る句多いです(潜越恐縮)。「くやくも勝てば官軍世のならい」「今年こそ今年こそとて松も過ぎ」他年末年始の句ありがとうございます。

いただいた年賀状をじっくりと読み返しながら、みんなのエールに応えながら新しい年、様々驚くようなことが起こりそうですが、前向きに好奇心と初心の情熱、愛を身体の中に入れて生き進みます。今年もどうぞよろしくお祈りします。

重信さんは2010年8月16日の刑確定後は通信回数枚数が制限され、(月5通、1通便箋7枚)、おもに親族と弁護士宛に通信されています。この「独居より」はその通信の「日誌」部分を編集室が抄出したものです。

大阪 びっくり! 逮捕ばっかり!

住吉さんは見た! 委員会

2012年、年も押し詰まった12月9日。日曜日。この日大阪は寒かった。南の山地の村からは「雪い〜」の報告が届く、穏やかな一日でした。朝のうちは・・・

ところが、昼頃「朝2人逮捕されてんて〜!」という情報が駆け巡りました。

3・11以来、原発いらん、放射能瓦礫焼却反対を訴えて運動をやってきた、みんなの間に衝撃が走りました。2人とは、特に放射能の拡散、被曝の強要に反対して、子育て中の母親たちと共に勉強し、大阪市の橋下市長、環境局長に対して厳しく説明を求めていた、下地真樹阪南大学准教授と、Nさんでした。

そして、まだまだびっくりは続きます。逮捕容疑というのが、2ヵ月も前のことなのです。10月17日に、大阪駅ルクア前で放射能瓦礫焼却反対の情報宣伝がありました。情報宣伝が終わったあと、みんな、大阪役所前へ場所を移すために、大阪駅構内を通りました。その通り方が悪いというのです。ハア? どんないいようなことがあったんでしょうか? 人が殴られてもしたんでしょうか? いいえ、ゼンゼンッ! むしろ、通行を妨害したのはJR職員です!! (この件については、後日、Hさんが再逮捕一起訴されています。)

いずれにしても、こんなことで一人(いえ三人)逮捕勾留されていいんでしょうか? 逮捕勾留されることによってその人の日常生活はメチャメチャに破壊されてしまいます。家族や、回りの人との関係が悪くなるかもしれません。職を失うかもしれません。人生が変わってしまうかもしれないのです。それほど力の行使をいとも安易に、ある意味的確に行なっているのです。

そもそも、おかしいものをおかしいというのは市民の当然の権利です。民主主義ちゅうものです。下地さん、Nさん、Hさんは、子供たちを守ろうと。放射能瓦礫の焼却に反対! といっていただけなのです。こんな風に逮捕されるとなったら、誰も言いたいことをいえなくなってしまいます。そんな社会に生きてくありません。またこの逮捕は2ヵ月も経ってからの令状逮捕です。もしそれだけの“事”があったのなら、その場で現行犯逮捕したらいいじゃないですか! 警察官もいっぱいいたのですから。

結局、12月28日、勾留期限ギリギリまで使って、

ていうか、自分たち(検察)の御用納めの日に、下地さんを釈放したのです。いきなり放り出されて、なんの謝罪もありません。もちろん補償だってありません。結局警察は、うそついて引っぱっても、23日間は勾留しておけるということです。逮捕し放題! 勾留し放題!! ですか!! ああ腹立つ!!

大阪原発の再稼働反対の現地闘争に関して、9月20日にKさんが逮捕一起訴されて以来、大阪では、10月5日に関西電力本店前でAさん現行犯逮捕起訴、11月13日には、大阪市瓦礫処理に関する説明会会場、此花区民センターで、U・P・H・Muさんの4人逮捕-3名起訴。Mさん令状逮捕一起訴。11月22日、夢洲瓦礫処理場近くで、1名逮捕(翌日釈放)と逮捕一起訴が続き、更に加えての12月9日の下地さん、Nさん逮捕、12月11日、Hさん獄中再逮捕だったのです。

次から次への逮捕一起訴、こんなことがあつていいものか! 原発はいやや、放射能はいややと言いつづけて来た人たちがばっかりです。これは、どうしても原発を続けたい人たち、「放射能は安全です」と言いたい人たちの本性が現れたとしか言いようがないと思います。今も昔も、こうやって国策は続けられてきたんやと思いましたが。力づくや! うちらにできることは、ほんとうの意味でつながっていくことだけ。ほんまもんの絆をつむいでいくことだけです。

原発はいらんねん。原発の電気はいらんねん。放射能とはいっしょに生きてはいかれへん! うちらは絶対あきらめへん。なんにもせんでも逮捕されるんやてわかったけど、それでもやっぱり言い続ける。

原発はいらん! 燃やすな瓦礫 被災地でも!

- 9月20日(木) Kさん、器物損壊、傷害、脅迫、暴行 令状逮捕(10/10 起訴)
- 10月5日(金) Aさん「公務執行妨害・傷害」(「転び公妨」逮捕、10/26 起訴)
- 10月13日(火) Uさん・Pさん・Hさん・Muさん逮捕「建造物侵入」「公務執行妨害」12/4 「威力業務妨害」でU・P・Hさん起訴 Muさん釈放
- 11月16日(金) Mtさん「公務執行妨害・器物損

壊 令状逮捕 12/6 起訴
11月22日(木) 1名逮捕「軽犯罪」翌日釈放(夢洲)
12月9日(日) 下地さんNさん逮捕「鉄道営業法違

反、不退去、威力業務妨害」12/28釈放
12月11日(火)Hさん獄中逮捕「鉄道営業法違反
不退去、威力業務妨害」12/28「威力業務妨害」で起訴

初詣は関電へ！大和高田新年金曜デモ報告

森本忠紀

大和高田には関電営業所があります。奈良県下に関電営業所があるのは、奈良市と大和高田市だけです。

そこで、初詣は関電へ！関電大和高田営業所へ年賀状を届けに行こうとの呼びかけがなされ、各地から13名の方が駆けつけてくださいました。高田市駅に集合して、三線演奏交え、サウンドデモ式に「ゲンバツハイロ」「ゲンバツイラナイ」「イノチマモレ」など、何度もコールしながら関電大和高田営業所へ向かいました。横断幕を車道側に掲げながらの行進に、「道行く車からも結構注目されてましたよ」とは取材に来てくれた中和新聞記者の感想。

関電側はお二人の方が玄関に立って待っていましたが、かなり緊張した様子の物販。ムムムといった空気が漂いかけたところを「おめでとうございませう」とNさんのこやかな挨拶で、場の空気を一変させるという一幕も。せっかく出迎えてくださってるので、お二人の前で、一人一人年賀状を読み上げました。「通常の年賀状と同じ扱いにさせていただきますよ」と関電側。何回も言わんでもええっちゃうねん。こちらは通常の年賀状にかこつけて言いたいことを言うたろやないかと来てるのに、ユーモアがわかってないなあ。でも、わざわざ、ぼくらを待っていてくださり、年賀状を読み上げる間その場に立って聞いてくださりありがとうございました。

ユーモアと言えば、朝川肇さんの年賀状、ユーモア満点で、出色のできでありました。他にもおもしろいのがいろいろありましたが、紙面の都合で割愛します。デモの後、かつば寿司での新年会には8人参加してくだり、今後さよなら原発運動をどのように進めて行くか、活発に意見交換。今年は毎週一度の金曜デモ、いよいよ大和高田でやろうではないかと、年の初めにふさわしい素晴らしい目標が掲げられました。

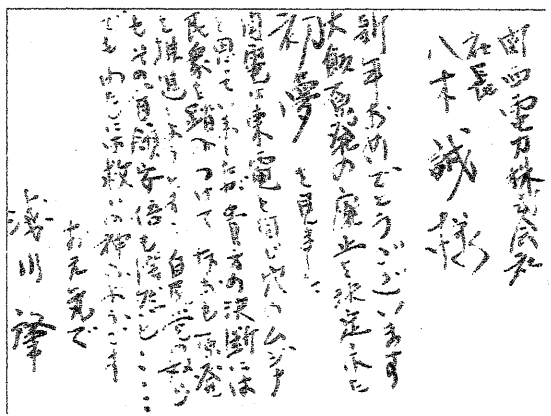
昨年は、東京10万人集会と、首相官邸包囲金曜デモへ全国金曜デモに代表される年だったと思います。金曜デモは、それまでほとんどデモを経験したことのない人が起ちあがったということ。強力な指導者の元

に集まるというのではなく、自主的に、また呼びかける手段も、メール、フェイスブック、ツイッターなど新機種をふんだんに駆使するという、これまでとはガラリと変わったスタイルだということに特徴があります。この金曜デモの波がさらに大きなうねりとなるのか否かが原発を止めることができるかどうかの帰趨を制することでしょう。今年はそんな大きな意味ある年です。金曜デモでガタガタ揺さぶられる、そんな活断層が大和高田にあることは、私は地震学者ではありませんが、確信しています。だからと言って、活断層を動かすことはようしません。でも、呼び水にはなれます。呼び水として今年一年大和高田金曜デモをやりたいと思います。大和高田に金曜デモの波が起る時、それは全国にもっともっと金曜デモが広がる時でしょう。その時、金曜デモが政治の舞台に登場、政治を動かす力となります。

人数は少ないながら、4日は、生駒、桜井、奈良、北葛からみなさんが結集してくださいました。昨年生まれた、さよなら原発なら県ネットの今年の発展・飛躍を予感させる、年初めの原発廃炉アピール行動でありました。

全国に共感の声湧きあがる

金曜デモが我らの町に
ちゅうき



アラブ物語(22)

ステーションとしての党へ—ヨーロッパを戦場とした誤り(4)

重信 房子

8. パリでの逮捕と最悪事態

7月26日ペイルートから出発したYはパリのオルリー空港で拘束された。後にYの話によると、当日は労働者のストで、パスポートコントロールもなかったという。そこで、在欧仲間が調達してきた「F・Y」という名の新しい本物の旅券を手を持ち、ペイルート出国用のレバノンスタンプの入った同名のニセの旅券は首からつるしたパスポート入れに入れていた。Jからパスポートコントロールまでのコンコースに国際郵便のポストがあるので、投函するようにと渡されていた郵便物を、Yは忘れていたために、そのままこれらの郵便物を持って、パスポートコントロールをこえた。

そして、大荷物受け取りのところで、ランダムに荷物検査をしていた税関で呼び止められて検査された。そこでパスポートがいくつも出てきて拘束された。当時二等書記官の国松孝次はパリの日本大使館にいて、この事件に遭遇し、押収品の日本語物件をコピーして、本国に送った。この「活躍」で後にそれで彼が出世する糸口となったと言われている。

Yは返却すべき見本のドル札、アウトサイドワーク、アブ・ハニから在欧の他の友人組織などへの手紙、Jや私からのホンヤク作戦に関する友人たちへの再編方針の手紙やアシェンへの手紙を持ったまま、押収された。加えて、投函しなかった国内への航空郵便(エアログラム)など数多くの文書を持って拘束された。

翌日には、Yがコンタクトする予定のRが拘束され、家宅捜索と受けたうで、すぐにいったん釈放された。旅券も身分も合法的な人物だったからである。しかし、彼女の家から住所録などが押収された。他には日本と中東を中継するアドレスのMら、Jの友人らが何人かやはり取り調べを受けた。しかし、私たちは、ペイルートでこの拘束を当初まったく知らなかった。すでにPFLPとの連携でうまくパリに入って仕事をしているだろうとしか考えていなかった。

ペイルートでは、ホンヤク作戦の再編を優先したために、遅れていた夏の会議をYを送り出したあとから始めていた。7月下旬から8月上旬までの予定で足立、

Jと私の3人で、これまでの相互報告をしながら、今後の方向を決めて、ステーションとしての党の草案的なたたき台をまとめることにしていた。国際情勢や統一戦線の方針はJが書き、日本の運動と日本での統一戦線の展望については足立さんが書き、私が今後の「ステーションとしての党」についての当事者各現場を基盤とした調整型組織についてレジュメを書くことで合意していった。Jは自分の分担分を書きあげて、書きあげたあとに討議していく段階だった。

ちょうどこの時、PFLPアウトサイドワークのアブ・ハニの要請ということで、Jが至急の用事で呼ばれた。パリに飛んでほしいとの要請だった。アシェングループの人がペイルート空港で逮捕されたという。この事実を至急アシェングループに伝え、対策を伝えるべくJがすぐパリに飛ぶことになった。もう少しで文書のできあがりとなるので、夜中にまとめ会議をやるかと私は提案した。しかし、Jは至急の要請なので、そのままペイルートから陸路ダマスカスに行き、翌日ダマスカスからリヨンに入った。そしてJはRと連絡をとり、Mとも連絡をとり、Yがすでにオルリー空港で逮捕されていたことを知った。JがYを送り出してもう10日を経っていた。

ペイルートのアシェングループの人が、何日に逮捕されたのかは、私たちにはわからなかった。その逮捕とパリでのYの逮捕は関連していたかもしれない。Jはリヨンからパリ入りした後、私たち宛にパリから事態を知らせる電報を打った。そして翌日の8月8日、Yの逮捕やその影響などを記して、Yの奪還闘争を要求する手紙を投函しようとした。しかし、その手紙の下書きを持ったまま、Jと在欧の仲間たち4名は8月20日パリで逮捕された。

当時、Jがペイルートに向けて送った手紙は以下であった。(下書きしたものを嚙下しようにして、阻止され押収された。それはまた、私の2002年8月の公判の検察側証拠として提出されたものの一部である。分かりやすく書き変えている。○○○印は読めないままの部分。)

「PFLPからたのまれたアシェンへの連絡の件、

8月中お店は夏休みで連絡つかない。指示待つ。Y 27/7オルリーで逮捕。待たれていた感じ。

○の留置場所○。接触困難。Rのガサと逮捕。家族と親戚の名簿ほとんどすべてとられた。つとめ先で身許確認の上ポイ。起訴されまい。再度調べられてパス返される。

友人アンも1/8夫人の実家で逮捕。Yのもっている日本あてアエログラムから。パリ移送、パリの自宅ともガサ。とられたものなし。一晚留置され翌日ポイ。起訴されまい。両者のうけたしらべからわかったこと次の通り。狭い意味の事件としてフランス国内で起こったニセもの事件で、ニセ係が調べ、法的にもこれだけで裁判になるかもしれないが、同時に今の国内外の状況から政治警察、外事警察が乗り出してきて、組織や背後の調査をしており、より広い弾圧の機会を狙っている。

Yのじん間にも、通訳として日大(日K)がたちあっているもようだし、日本語の押収書類はすべて日大にまわしホンヤクさせている。当然コピーは日大→日Kへ流れているだろう。Yについては、『犯罪を犯したことがあり、日本でタイホ歴がある』と言っている。ただし、「F・Y」という名で呼ばれている。Yのもっていた手紙(アエログラムも含む)から、ホンヤクの仕事のかなりの部分がわかってしまっているもよう。

アンの取り調べから、重要人物として、ミズ(註: Jのこと)が浮かび上がっている。みつき次第パクられる。入られたのは偶然的。とんで火にいる夏の虫で今もぐっている。家族近親者の名簿をとられた大事ななもの、日本のレンラク名など。この事件で、ほかにトルコ画家、エヴァという名のドイツ生まれの女教師が逮捕されているらしい。

6、とった措置 在欧○○に事態を知らせ、起こりうべきことにそなえさせている。新しいレンラク体制をこうちく中。

ここからは、電話番号を失った上、電話はチェックされよう。在欧の仲間にお寺(註: ベイルートの私たちの電話中継のアパート)に第1報をさせるようにた

のんでいるが、やれたかどうか。お寺も動いてしまっているかもしれない。やむをえず、きのうこれと同じアドレスに電ポエをうった。以後もここをつかうこと多いから、いつも注意するように。

新たにそちらからは、別のいいアドレス送ってほしい。この手紙と同じやり方で書いてほしい。Yにフランス人弁護士をつけようとしているが、これも夏休みで難航。Xの力を仰ぎたいが、これも夏休みで難航。ミズに近い日本の友人にケイコク中。まにあうかどうか。

ミズは体制たてなおしや、あとしまつのため、しばらく動けないだろうから、ベイルートへ一人送るつもり。早くて28/8ごろになるだろう。

おそれることは、Yのパクリと、3~4/8のそちらでのパクリとが関連あるのではないかということ。敵は、われらのすべての仲間をこの機会にねだやしにしようとして、国際的に大陰謀大攻勢をかけてきているのではないか。

この上たいほ者がなくとも、Yはここで裁判、刑期が終わって、本国送還のおそれがある。しかも、事件に政治的性格があれば、フランスからのデポートは比較的困なん。

この弁護士はそこを強調するようにしてもらおう。いずれにせよ、敵はすでにYが兄弟であることを知っている。だから、ある段階で、(PFLPとよく相談して)外から奪還闘争をしてほしいし、その前にわれらやいとこの戦士であることを、公判で明らかにしよう。もちろん、そちらで何を○○異議はない。しかし成功してもらわなければならない。PFLPとフランス政府の関係も微妙だし、敵を甘くみるな。批判、自己批判は一切省略した。しかし、われわれと同じように教訓をくみとる様切望する。今は、これ以上のギセイ者を出さずに体制を固めること、そしてギセイ者をだっかんすることだ。8月8日(以上、2002年8月開示公判証拠より)

この手紙などの日付から逆算すると、Jがアブ・ハニの指示をベイルートで受けたのは8月4日ごろであった。アシェンのグループの人がベイルート空港で逮捕されてから何日たっていたかはわからない。当初はPFLPも穏便にレバノン側と解決しようとして、日がたっていたかもしれない。

ニザールは、リビアで、このベイルートでのアシェングループの人の逮捕の伝説ニュースを聞いたのは7月下旬だったと証言していた。7月下旬にベイルート

空港での拘束が起こったのかもしれない。または、Yの逮捕がベイルートに波及して、アシェングループの人間の持ち出し荷物への警戒が問われたのか、逆にアシェングループの人間の逮捕から、Yの警戒逮捕、荷物検査に至ったのか、どちらも断定することはできない。とにかく、どちらかが作用したと思われる。

当初パリ入りして、Jは、即座にアシェングループにアブ・ハニからの伝言を試みたが、バカンスで連絡先となっていた画廊は閉じられたままだった。Jの知っているアシェンたちと会議するアパートに行つたが、そこも不在だった。早く知らせなければならぬ。またさらに、この事件を早くベイルートに伝えなければならぬ。Jは在欧の誰かにベイルートの日本人のアパートに電話をして、この緊急事態を伝えるよう指示した。パリからでは盗聴の危険があったためである。しかし、それらの情報をベイルートでは得ることはできなかった。また、Jは事態を説明しPFLPに相談して、Yの奪還闘争をやるようにとベイルートへ手紙を書いた。これもベイルートでは手に入れることはなかった。

当時、私たちベイルートでは、組織作りの会議と並行して、ドバイ闘争の部隊の釈放に関連して多忙であった。リビアは裁判はやらずに釈放すると私たちに伝えていた。しかし一方で、日本大使館筋からやはり裁判をやるという真逆の情報がいった。公判日は前から明らかにされていたが、そんな筈はないと思いつつ、万一を考えて、庄司弁護士にトリポリに行ってもらった。ベイルートで打ち合わせてからトリポリに入ってもらった計画が、時間の調整で難しくなった。とにかく庄司弁護士にはビザが取れるなら直接トリポリに入ってもらい、そこに私が合流することにした。

そうしたあわただしい時に、パリから電報が届いた。第一報がこのJからの電報だった。8月7日だった。当時決めていた暗号はすでに押収されていたし、緊急の符丁を決めていなかったの、Jはそれとなく伝える方式をとって、「Yが病気で入院した」といった内容を伝えてきた。

「Yが病気で入院？」本当に病気で入院したのか？あれこれ考えてみた。そして、もしかしたら逮捕されたということではないか？と大さわぎになった。そうだとすれば、一番に思い浮かんだのは、デュッセルドルフでの再拘束である。前に交通違反でやられている。また何が起こったのか？あまりに日がすでにたっていたので、オルリー空港で逮捕されているということ

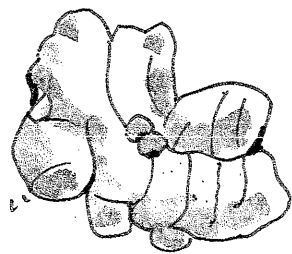
にすぐに考えが及ばなかった。

とにかく、すぐPFLPの政治局の人に会いに行った。そして、Yに何か起こったらしいと話をする、すでにPFLPの政治局の方は事態を把握していた。そして直行便でベイルートからパリに行ったこと、パリのオルリー空港で逮捕されているかもしれないことなどがわかった。PFLPにも、またその関連者にも被害が出ているという。PFLPは仲間を逮捕されたら必ず釈放させるというポリシーを貫いていた。当時、まず政治的に交渉して、逮捕者を国外に追放してもらうやり方である。武器など持った作戦途中の拘束でない限り大丈夫だということ。これまでもPFLPの関連で、パリで逮捕され、偽旅券ごと欧州から追放されてきた者もいた。まず政治交渉からはじめるので、私には計画通りリビアに行くようにとPFLPの人は勧めた。もちろん私が居ても居なくてもPFLPの方でYのことは対応してくれる。PFLPの傘下でこれまでも関わってきて、私にまだ何もできるわけでもない。独自に踏み出したホンヤク作戦も、Yの逮捕で、当面できる筈はない。私はYのことをPFLPにゆだねて、ベイルートを出発した。

こうして、Yのパリ、オルリーでの逮捕から、ホンヤク作戦計画は頓挫した。そしてJらは、この事態に対して、彼ら自身が逮捕されるまでなんとか被害を最少にいとめようと、武器やドキュメントなどの兵站物資の移転、また、R宅から押収された住所録によって狙われるだろう人々への緊急対策に追われた。また、Yに対する弁護士対策も問われた。Jの指揮下、K、Rらがこうした活動をしていたのは、Jからベイルートに出された手紙にもあるように、事態は終息するだろうという見通しにたっていたためであった。

ところが、フランスの日本大使館は、日本語の押収物品を早々にフランス当局から入手し、Yの引き渡しを要求していた。

一方フランスは、PFLPとの交渉に入っており、Yの逮捕は公表を控えていた。そして、一方でJらをひそかに尾行し、行動を監視していた。そして、8月20日J、R、K他計4人を一斉に拘束した。4人はパリで体制をたてなおしの作業をやりながら一段落終結して、今後の対策のために尾行に注意しながらカフェテリアに集まったところだった。4人の逮捕は事態は終息ではなく、アウトサイドワークなど武装グループの地下組織の解明を求めて、さらに弾圧をひらく出発点となった。



こうした一連の逮捕は「パリ事件」と当時呼ばれた。ヨーロッパを安易に戦場とした私たちの小さな野心的な軍事計画が、多くの革命グループに被害を与えていくことになった。

『大義』のつもりで手段を選ばない闘い方に陥っていた。手段、プロセスにこそ革命のモラル・誠実さ、未来の姿が宿っていることが、今ではわかる。当時の

目先の情況にとらわれた自分たちの都合で突破しようとした活動のあり方は、いざ発覚した時、革命も友人も自分たちをも損なってしまった。

革命をめざす者は、決断し行動する根本に人間性倫理が最も問われていることを自分たちのこの失敗、過ちから、また、友人たちの反面教師から、以降も学んでいくことになる。(この章完)

重信房子著

革命の季節

——パレスチナの戦場から——

発売中！ 幻冬舎発行 定価（本体 1700 円＋税）

生も死も、自分のことは埒外だった。——世界はまだ平和じゃない。
1972年リッダ闘争＝テルアビブ国際空港作戦から40年。
奥平剛士・安田安之・山田修・檜森孝雄・丸岡修……
彼らと共に闘った未熟でもひたすらに正義を求めたアラブでの日々。



左：サラハ安田とバーシム奥平
上：若松孝二氏、ライラ、著者

後書

今年の冬は全国的にずいぶんと冷え込みますね。我が家の猫は、鳴いて私にコタツに入れとせかし、私が座るとぴよんと膝に乗ってきて、6キロの体重をかけて、ぐっすり寝こけるのが常となりました。

1月10日に面会した重信さんのご親族からいただいたお電話ですと、重信さんは変わりなくお元気だったのとのこと。「独居より」の12月31日に「新年は歯科治療、大腸ポリープ内視鏡摘出または再度の開腹摘出を終えると移監です」とあります。八王子は東京都の中で山に近い寒い地域で、常に都心より3-5度気温が低いのに、刑務所には暖房がほとんどないのだそう。癌からの回復期の身体に寒さが心配です。ストレッチやラジオ体操で基礎体力維持に努めてください。 Y

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル5階

救援連絡センター気付 「重信房子さんを支える会」

郵便振替 00110-4-613941 オリーブの樹

銀行口座 三井住友銀行 赤羽支店 226-3687269 オリーブの樹

頒布価格 500円

「正誤」表

第 115 号

- ① 3P(11/16)下から6行目
- ② 5P(11/22)左下から 5行目
- ③ 9P(12/17)右下から 10行目

- ④ 10P(12/19)右上から 2行目
- ⑤ 14P(1/9)下から 14行目

宇都宮徳間→宇都宮徳馬
「自治権支持」→「自衛権支持」
大敗はませんでした。
→大敗はしませんでした。
オリタス→カリタス
阿部首相→安倍首相